



練馬区みどりバス（コミュニティバス）

事前のお知らせ

氷川台ルートが練馬駅、東武練馬駅に乗り入れ！

～ 4月16日(水)から、ご乗車の方に再編記念クリアファイルを配布～

16日(水)から、みどりバス氷川台ルートは、現在乗り入れている光が丘駅・練馬春日町駅・氷川台駅の3駅に、練馬駅・東武練馬駅が加わり、鉄道5駅を結ぶルートになる。

みどりバスは、鉄道やバスなどの公共交通を利用しづらい地域の改善を図るため、現在、6路線で運行しており、平成24年度には、年間約89万人の利用があった。

氷川台ルートは、区民の意向を反映させた利便性の高い再編ルートを策定するために、沿線地域住民の参画のもと、平成23年9月から検討を進めてきた。

この再編運行の開始を記念して、みどりバスと区の公式アニメキャラクター「ねり丸」をデザインしたクリアファイルを作成し、16日(水)から22日(火)までの間にご乗車された方に配布する。この中には、練馬区観光協会が作成した、「お花見散歩まっぷ」が入っており、春のまち歩きにも、みどりバスを活用してもらいたいと考えている。クリアファイルは1,000枚で、なくなり次第、配布終了。

区では今後とも、みどりバスの利用促進のために、区の観光資源やねり丸を活用した利用促進策に取り組んでいく。



【みどりバス・外観】



【ねり丸クリアファイルデザイン】

【みどりバス】

みどりバスは、民間事業者の路線バスを補完し、公共交通空白地域の改善を図ることなどを目的に、平成3年から、区がバス事業者へ依頼して運行しているコミュニティバスである。

現在、保谷・北町・関町・氷川台・大泉・南大泉の6路線で運行しており、1日の平均乗車人数は、6路線合わせて約2千5百人を数え、区民の貴重な足として利用されている。

氷川台ルートは、平成21年3月に区が策定した「公共交通空白地域改善計画」に基づき、平成23年9月から、地元町会など地域の代表者や公募区民と「みどりバス氷川台ルート再編検討会」において検討を行い、本年4月16日から、再編運行を開始することとなった。

【運行概要】

- 1 路線 練馬光が丘病院～光が丘駅～練馬春日町駅東～練馬駅～氷川台駅～氷川台福祉園～東武練馬駅入口
- 2 停留所数 38箇所
- 3 運行便数 15便/日
- 4 運行間隔 概ね60分に1便
- 5 運賃 大人：220円（現金）216円（ICカード） 子ども：110円（現金）108円（ICカード）
東京都シルバーパス、Suica、PASMOが利用可能

割引運賃：110円（現金）108円（ICカード）65歳以上の方、および障害者の方など

【問い合わせ】環境まちづくり事業本部都市整備部交通企画課交通企画担当係 電話 03-5984-1274

